



■子どもの行動の例

一人で顔を洗ってほしい



例) 顔を洗う場面

■うちの子のできているところを探しましょう！

	できる	時々できる	できない
朝、起きて来る	●		
「おはよう」が言える	●		
言われたことに返事をする	●		
トイレの行く	●		
洗面所に行く	●		
手をあらう	●		
手を拭く	●		
顔をあらう		●	
顔を拭く	●		

できている行動

すでにできている行動も認める(ほめるなど)ことで行動の定着が期待できるでしょう。

取り組みたい行動

時々しかできない行動も、できた時に認める(ほめるなど)ことで行動の定着に近づいていこう。

子育てヒント

少なすぎる指示

子どもは、どのようにしたら良いかが分からずに行動しない場合があります。

はじめは、どのようにしたら良いかを丁寧に教えましょう。

例えば、顔を洗う練習中の子ども、顔に水があたるのが苦手な子どもに対して

「がんばって洗ってね」と言うだけでは、上手に顔を洗うことはできません。

時間はかかりますが新しい行動を覚えるときには、丁寧に教えながら進めます。

先々は一人で自信をもち上手に、できるようになるでしょう。

使いやすいヒント

- ・蛇口に手が届くように踏み台を置く。
- ・自分でタオルを使えるようにフックなどを使う。



例題の「一人で顔を洗ってほしい」で考えてみましょう。

■前向き子育てのコツ

アスク(たずねる)・セイ(言う)・ドウ(やる)を使う

子どもが一人でできるようになることを手助けするのによい方法です。課題が難しく時間がかかりそうな時は、いくつかのステップに分け、ステップごとに教えます。そうすることで、子どもができるところ、できないところが分かりやすくなります。できるようになれば、徐々に手助けを減らしていきます。

取り組もうとする姿勢を認める(ほめる)

■ステップ1

アスク(たずねる)	親「顔を洗う時、初めにすることは何？」
セイ(言う) 分からないときは教える	親「 <u>そうだね、蛇口を開くんだね、よく分かったね</u> 」
ドウ(やる) できない時は手伝う	親「 <u>やってみて</u> 」「 <u>上手に蛇口を開けたね</u> 」

できたら具体的に認める(ほめる)

ステップ1 蛇口を開く

ステップ2 顔を洗う

ステップ3 蛇口を閉める

ステップ4 顔をふく

■ステップ2

アスク(たずねる)	親「次は何する？」
セイ(言う) 分からない時は教える	親「次は、顔を洗うよ」
ドウ(やる) できない時は手伝う	親「 <u>顔を洗うのは、難しいよね、手のひらで上下に顔をなでるのを手伝ってあげるね</u> 」

今回の場合、親は、教える時に子どもの後ろから手伝います。はじめは子どもの手に優しく添えますができるようになれば、子どものひじに優しく手を添えます。子どもが一人でできるようになるように手助けをして

■ステップ3

アスク(たずねる)	親「次は何する？」
セイ(言う) 分からないときは教える	親「 <u>そうだね、蛇口を閉めるんだね、よく分かったね</u> 」
ドウ(やる) できない時は手伝う	親「 <u>やってみて</u> 」「 <u>上手に蛇口を閉められたね</u> 」

■ステップ4

アスク(たずねる)	親「次は何する？」
セイ(言う) 分からないときは教える	親「 <u>そうだね、タオルで顔を拭くんだね、よく分かったね</u> 」
ドウ(やる) できない時は手伝う	親「 <u>やってみて</u> 」「 <u>上手に拭けたね</u> 」

※それぞれのステップごとにアスク・セイ・ドウを繰り返しましょう。



市の「前向き子育て応援事業」の情報はコチラ



■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568

(前向き子育て 担当 石橋)

科学研究費助成事業(責任者 福岡県立大学 江上千代美)

無断複写・複製を禁ず

今月の定期便についての

感想や質問をお聞かせください。